

平成27年度  
(2015年度)

# 事業報告書

(平成27年4月1日～平成28年3月31日)



社会福祉法人近江八幡市社会福祉協議会

## 【総括報告】

社会福祉法の一部改正法が、本年3月31日付けで公布され、この改正により社会福祉法人制度が大きく変ることとなりました。法人のガバナンス、運営の透明性の確保、地域における公益的な取組の責務など、社会福祉法人として求められることを理解し、地域福祉の担い手として、地域福祉ニーズに応えられるよう、取り組んで参りたいと考えています。

さて、昨年度の事業につきまして、地域福祉活動の推進としての小地域ケア会議の開催が、これまでの安土地区、武佐学区、北里学区に加え、馬淵学区において実施することになり、八幡学区においては、引き続き自治会単位の福祉委員会の設立を、まちづくり協議会とともに呼びかけました。また、岡山学区においては、見守り支えあい活動研修会が開催されました。今後も地域の福祉課題の解決に向けた話し合いの場づくりを進めて参ります。併せて、ふれあいサロン活動の支援につきましては、前年に比べ150件の開催増となりました。また、子ども食堂に関し「むっさ子食堂」の立ち上げ支援、そして、いろいろな課題がある中で長期休み中に3回の実施に協力をしました。地域に出向き、地域と共に考えるこの姿勢を続けることが、重要課題として掲げる「社協の見える化」に繋がると考えています。今後も地域福祉の一層の推進に取り組んで参ります。

次に、ボランティア活動支援ですが、活動者との関わりや啓発活動を強化した結果、登録件数、相談受付・情報提供や活動依頼件数等も昨年よりも増加しました。(P12参照)今後もこれらの件数を増加させるよう努力するとともに、現在の活動がどちらかといえば受動的な活動になっていることも否めないことから、昨年実施した「くらし応援サポーター養成講座」や「災害ボランティア運営サポーター養成研修」など、今日的な課題解決といった目的を持った養成講座をより多く行い、これらをコーディネートし能動的な支援活動ができる実践が必要であります。このことを今後の活動に生かして参りたいと考えています。

また、学校現場における福祉教育の推進では小中高において、昨年より3時間多い48時間の学習支援を行い、新しいプログラム作りと継続した福祉教育の必要性を感じました。

地域福祉権利擁護事業について、年度末契約件数は昨年と同様75件でした。年度中には81件の契約時もあり、相談援助件数は昨年より136件多い3778件となりました。

次に、介護保険事業等について、デイサービス3事業所の延べ利用者数は昨年より377人減少の15,481人となり収入面では5,266,332円の減少となりました。ヘルパーステーション関連事業は高齢者の利用減少に対し、身体障がい等の利用増と輸送サービスの利用増により活動時間が255Hの微増で8,321H、収入面では92,128円増の31,893,766円となりました。居宅介護支援事業では、延べ利用者数が180人増の8,321人、収入面で2,990,360円増の33,633,370円となりました。また、障害者総合支援法に基づく計画相談事業は利用件数で263件増の682件、ガイドヘルプ事業は42件増の458件となり、両事業合わせた収入面では、4,057,690円増の12,102,060円となり、デイサービス事業の課題が残りました。

## 【事業別報告】

### 1. 法人運営

#### 〈評価と今後の方向性〉

平成27年度の社会福祉協議会の決算は最終赤字となるなど、大変厳しい環境で事業を実施しました。安定した組織経営を行っていくための事業戦略や組織、経営基盤の確保を図る必要があります。

#### (1) 会務の運営

##### ①理事会

本会活動の適正な経営と総合的な活動の推進を図るため、理事会を開催しました。

平成27年度は4回開催しました。

開催日	議事内容
第1回 平成27年5月27日	1. 平成26年度事業報告について 2. 平成26年度一般会計決算について 3. 社会福祉法人近江八幡市社会福祉協議会定款の改正について 4. 社会福祉法人近江八幡市社会福祉協議会定款施行細則の改正について 5. 評議員の選任について
第2回 平成27年6月11日	6. 社会福祉法人近江八幡市社会福祉協議会会長・副会長の選任について 7. 社会福祉法人近江八幡市社会福祉協議会顧問の委嘱について 8. デイサービスセンターひまわり運営規程の改正について 9. デイサービスセンターひまわり（介護予防）運営規程の改正について 10. デイサービスセンターきらめきあづち運営規程の一部改正について 11. デイサービスセンターきらめきあづち（介護予防）運営規程の改正について 12. デイサービスセンターほのほのあづち運営規程の改正について 13. デイサービスセンターほのほのあづち（介護予防）運営規程の一部改正について 14. ヘルパーステーションあづち運営規程の一部改正について 15. ヘルパーステーションあづち（介護予防）運営規程の一部改正について 16. 評議員の追加選任について
第3回 平成27年12月24日	17. 職員就業規則の改正について 18. 嘱託職員および臨時職員就業規則の改正について 19. 非常勤ホームヘルパー就業規則の改正について 20. デイサービスほのほのあづち運営規程の改正について 21. デイサービスほのほのあづち（介護予防）運営規程の改正について
	22. 平成27年度一般会計補正予算（案）について 23. 平成28年度事業計画（案）について 24. 平成28年度一般会計収支予算（案）について

第4回 平成28年3月24日	25. 定款施行細則の改正について 26. 特定個人情報取扱規程(案)の制定について 27. 職員採用規則の改正について 28. 嘱託職員および臨時職員就業規則の改正について 29. 非常勤ホームヘルパー就業規則の改正について 30. 職員の育児休業および介護休業に関する規則の改正について
-------------------	--

## ②評議員会

本会事業の適正な運営と総合的な活動の推進を図るため、評議員会を開催しました。  
 平成27年度は、3回開催しました。

開催日	議事内容
第1回 平成27年5月27日	1. 平成26年度事業報告について 2. 平成26年度一般会計決算について 3. 社会福祉法人近江八幡市社会福祉協議会定款の改正について
第2回 平成27年6月1日	4. 理事・監事の選任について
第3回 平成28年3月24日	5. 平成27年度一般会計補正予算(案)について 6. 平成28年度事業計画(案)について 7. 平成28年度一般会計収支予算(案)について

## ③監事会

会計の透明性を図るため、監事による監査を実施しました。

また、会計事務所による定期監査を毎月1回定期的に受け、会計事務の透明性、正確性を図りました。

開催日	内容
平成27年5月19日	平成26年度の事業報告および決算の監査

## ④研修(社協役員・民児協会長合同研修会)

見守り活動についての合同研修会を開催しました。

開催日	内容
平成27年11月19日	信楽見守りネットワークの取り組み 多羅尾見守り安心の輪

## (2) 社会福祉協議会の基盤強化

### ①会費の募集

賛助会費の募集について、役員および職員で取り組みました。

	平成27年度	平成26年度
一般会費	6,548,920円	6,548,920円
賛助会費	512,850円	615,000円

### (3) 苦情解決の実施

社会福祉協議会が実施するサービスの苦情解決を図るため、第三者委員を設置しました。

また、サービスの向上を図るため、本所、支所それぞれにおいて、毎月1回職員によるサービス向上委員会を開催しました。

#### ①相談（苦情）件数および事故件数

	平成27年度	平成26年度
福祉サービスに対する相談（苦情）	4件	5件
福祉サービスにおける事故	21件	32件
地域福祉活動に対する相談（苦情）	1件	0件
地域福祉活動における事故	0件	3件
施設管理業務に対する相談（苦情）	0件	0件
施設管理における事故	0件	0件
その他	0件	3件
合計	26件	43件

## 2. 庶務

### 〈評価と今後の方向性〉

社会福祉協議会の活動を広報紙「社協おうみはちまん」、「ボランティアだより」を発行し啓発を行うとともに、ホームページ、フェイスブック等を通して情報発信を行いました。

今後も様々な媒体からリアルタイムに情報発信していきたいと考えています。

#### (1) 広報啓発

市民に対し社協活動や地域福祉への理解を深めるため、広報紙を発行するとともに、ホームページ等を通して啓発を行いました。

また、福祉功労者への表彰と福祉に対する啓発を目的に市と社会福祉大会を開催しました。

①広報紙「社協おうみはちまん」の発行 5月、7月、9月、11月、1月、3月

②「ボランティアだより」の発行 4月、6月、8月、10月、12月、2月

③ホームページ、ブログ、フェイスブックによる情報発信

④社会福祉大会

と き：平成27年9月26日（土）

ところ：近江八幡市文化会館 小ホール

内 容：表彰、講演：講師（龍谷大学社会学部 山田 容准教授）

参加者：約200名

(2) 助成事業

福祉団体等に対し助成を行いました。また、平成27年度から寄付者の意向に基づいた子ども福祉活動助成を行いました。

①学区（地区）社会福祉協議会に対し助成

②団体助成（福祉関係団体助成14団体に助成）

③ボランティアグループ助成（14グループに助成）

④子ども福祉活動助成（4グループに助成）

### 3. 受託事業

〈評価と今後の方向性〉

行政からの運営費補助の増額が望めないなかで、社会福祉協議会は、行政からの委託事業を受託し、事業を実施していきたいと考えています。

平成27年度も総合福祉センターの業務の一部を受託し、管理を行いました。

(1) 施設運営管理

総合福祉センターの一部業務（貸館業務）の委託により実施しました。また、安土サービスセンターについては、無償貸与を受け施設管理を行いました。

〈施設の利用日数〉

	平成27年度	平成26年度
貸館合計	1,053.5 (100%)	1,082 (100%)
市関係	532 (50.5%)	555 (51.3%)
福祉団体等	381 (36.2%)	383 (35.4%)
社会福祉協議会	140.5 (13.3%)	144 (13.3%)

(2) 相談事業

介護保険にかかわるサービス向上に向けて、市担当課と連携を図りました。

①介護保険総合相談受託事業

〈新規申請相談件数〉

平成 27年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	35	29	32	26	35	24	38	27	21	34	26	32	359

#### 4. 関係機関事務

〈評価と方向性〉

共同募金、日本赤十字社社資募集について、自治会、団体および事業所等の協力を得て実施しました。

歳末たすけあい募金の助成については、学区（地区）社会福祉協議会や福祉団体が実施する事業等に助成しました。

（1）近江八幡市共同募金委員会

共同募金委員会事務局として、共同募金の事務や啓発活動を行いました。

①赤い羽根共同募金

	平成27年度	平成26年度
赤い羽根共同募金	6,674,562円	6,694,695円

②歳末たすけあい募金

	平成27年度	平成26年度
歳末たすけあい募金	4,459,523円	4,606,686円

③助成

助成においては、審査委員会を設置し、公正な助成を行っています。

〔一般募金助成事業〕

高齢者福祉活動費	学区（地区）老人福祉事業
児童・青少年福祉活動費	自治会（遊び場）、福祉活動推進校
福祉活動対策費	学区（地区）社協、まち協、福祉活動団体、市社協
見守り支えあい活動助成	自治会、まち協

〔歳末たすけあい助成事業〕

歳末助成金	各学区（地区）社協事業、福祉団体事業、市社協事業（地域支援事業、歳末事業）
-------	---------------------------------------

④災害援護活動

火災見舞金：1件

## (2) 日本赤十字社滋賀県支部近江八幡市地区

日本赤十字社に協力し、活動資金である社資募集を行いました。

### ①日本赤十字社社資募集

	平成27年度	平成26年度
一般社資(個人)	5,039,923円	5,416,369円
特別社資(法人)	840,000円	834,937円

### ②災害援護活動

火災見舞金：1件

## 5. 団体事務

---

### 〈評価と方向性〉

市民生委員児童委員協議会、市赤十字奉仕団、保護司会の事務局を担い、地域福祉の推進を図りました。

今後とも連携しながら支援を行っていきたいと考えます。

#### ①近江八幡市民生委員児童委員協議会

#### ②近江八幡市赤十字奉仕団

#### ③近江八幡保護区保護司会

## 6. 地域福祉活動の推進

---

### 〈評価と方向性〉

地域福祉活動計画の4年目として、目標達成に向けて取り組みました。

小地域ケア会議の取り組みでは、新たに馬淵学区において小地域ケア会議を開催しました。引き続き、他学区でも行っていただけるよう啓発をすすめます。

また、職員の地域担当制の4年目として、地域に出向く中で、地域の課題に応じた取り組みが推進できるよう関わりを強化したことにより、地域からの相談等が増えています。今後とも、地域の福祉と一緒に考えることのできる身近な存在と感じていただけるよう地域に出向き必要に応じて支援できるよう体制づくりをすすめていきます。

### (1) 学区(地区)社会福祉協議会活動の支援

#### ①小地域ケア会議の開催

小学校区において、地域に密着した情報共有、課題解決の場として、学区(地区)社会福祉協議会と共同で開催したものです。

平成27年度は、これまでの安土地区、武佐学区、北里学区のほか新たに馬淵学区においても開催しました。



また、岡山学区では、見守り支えあいの取り組みを高めていくために、見守り支えあい活動研修会を開催されました。

八幡学区では、引き続き自治会単位とする福祉委員会の設立の呼びかけをまちづくり協議会などで行いました。

今後とも、各学区にあった方法で、地域の福祉課題の解決に向けた話し合いの場づくりを進めていきたいと考えています。

#### ◇馬淵学区

開催日	内 容	参加者
平成27年12月5日	<ul style="list-style-type: none"> <li>○馬淵学区ケア会議（小地域ケア会議）とは（説明）</li> <li>○馬淵学区ケア会議の取り組みについて</li> <li>○グループワーク               <ul style="list-style-type: none"> <li>①馬淵学区ケア会議の説明やDVDの紹介などを聞いて感じたこと</li> <li>②私たちが住んでいる地域の福祉課題や現状について</li> </ul> </li> </ul>	42名

#### ◇北里学区

開催日	内 容	参加者
平成27年7月29日	<ul style="list-style-type: none"> <li>○小地域ケア会議について（説明）</li> <li>○地域における見守り活動の必要性について</li> <li>○事例紹介（内野見守り支えあい隊 内田昭数さん）</li> <li>○グループワーク               <ul style="list-style-type: none"> <li>①事例を聞いて、既存活動に取り入れたいこと、新たに取り組んでいきたいこと</li> <li>②わが自治会の見守り体制づくりについて</li> </ul> </li> </ul>	24名

#### ◇武佐学区

開催日	内 容	参加者
平成27年 7月11日	<ul style="list-style-type: none"> <li>○小地域ケア会議について（説明）</li> <li>○地域における見守り活動の必要性と取り組みのポイントについて</li> <li>○地域における見守り活動について （江ノ島見守り隊 安田利行さん・山中治美さん）</li> <li>○グループワーク               <ul style="list-style-type: none"> <li>①事例を聞いて、既存活動に取り入れたいこと、新たに取り組んでいきたいこと</li> <li>②今年度、見守り活動を強化するために取り組むこと</li> </ul> </li> </ul>	37名
平成27年11月11日	<ul style="list-style-type: none"> <li>○第1回小地域ケア会議の振り返り</li> <li>○武佐学区地域福祉計画について</li> <li>○グループワーク（武佐学区地域福祉計画 第2期計画の策定に向けて）               <ul style="list-style-type: none"> <li>①強化する必要があること</li> <li>②「こんなまちにしたいと思うこと」（5年後の武佐学区のイメージ）</li> </ul> </li> </ul>	28名

平成28年 2月10日	○今年度の小地域ケア会議の振り返り ○武佐学区地域福祉計画 第2期計画(案)について ○グループワーク ①武佐学区地域福祉計画 第2期計画(案)への感想・意見 ②平成27年度の振り返りと来年度の取り組みについて	27名
-------------	---	-----

#### ◇安土地区

開催日	内容	参加者
平成27年 7月 4日	○小地域ケア会議について(説明) ○安土町地域自治区における見守り支えあい活動の必要性と現状 ○グループワーク 事例検討 ①事例を聞いて、近所でこのような方がおられたら、あなたはどうしますか ②地域で何かできることはありますか ③地域でお互いが支えあえるようにするにはどうしていけばよいですか	87名
東：平成27年9月25日 西：平成27年9月29日 南：平成27年9月30日 北：平成27年10月2日	○第1回小地域ケア会議の振り返りおよび今後の取り組みに向けて ○高島市の活動紹介 ○地域での取り組みに向けての話し合い	99名
平成28年 2月 6日	○今年度の小地域ケア会議の振り返り ○活動報告 上豊浦見守り支えあいネットワークの取り組み ○グループワーク 平成27年度の振り返りと来年度に向けての取り組みについて	96名

#### ②地域福祉推進員活動の支援

地域福祉推進員は、各学区(地区)社協に1~2名設置し、学区(地区)社協会長とともに学区(地区)社協事業の企画や運営を行っていただくことを目的に設置するものです。

各学区(地区)社協の連携を深めるとともに情報交換を行うことを目的に地域福祉推進会議を開催しました。今年度は、学区(地区)社協会長、学区(地区)社協担当職員と合同で開催しました。

開催日	内容
平成27年 7月 9日	○学区(地区)社協の動き ○歳末たすけあい募金の助成について

#### ③福祉協力員活動の支援

福祉協力員は、学区(地区)社協会長が自治会単位に設置をお願いし、委嘱するものです。平成27年度は、各学区(地区)社協で286名の福祉協力員が活動をされました。

ふれあいサロン活動や見守り活動など、身近な地域における福祉活動の必要性が高まっています。今後、福祉協力員の役割と活動内容が地域に浸透していくように、学区(地区)社協および地域福祉推進員と連携し、推進していく必要があります。

#### ◇学区（地区）社協別福祉協力員数

学区	八幡	島	岡山	金田	桐原	馬淵	北里	武佐	安土	合計
人数	58	8	27	30	31	27	23	25	57	286

また、福祉協力員活動の支援を目的に研修会を開催しました。平成27年度は、2回の研修会を開催したほか、各学区（地区）社協においても研修会を開催されました。

なお、2回の講座とも公開講座として開催しました。

開催日	研修内容	参加者
平成27年 7月29日	○ふれあいサロンで使えるレクリエーション 講師：レクボラ じゃん・けん・ポンのみなさん	60名
平成27年 9月16日	「認知症の基礎理解と地域での関わりについて」 講師：認知症介護指導者 渡辺哲弘さん	47名

#### ④学区（地区）社会福祉協議会会長会の開催

学区（地区）社協間の情報交換や連携を行っていくため、学区（地区）社協会長会を開催しました。

開催日	協議事項
平成27年 7月 9日	○学区（地区）社協の動き ○歳末たすけあい募金の助成について
平成28年 2月17日	○地域福祉活動の推進について ○歳末たすけあい活動について ○平成28年度の研修スケジュールについて ○身体障害者相談員・知的障害者相談員との情報交換会

#### ⑤見守り支えあい活動情報交換会の開催

自治会単位における見守り支えあい活動推進のため、情報交換会を開催しました。

地域の福祉課題にあった活動の展開ができるよう、今後とも充実した交流や研修などの機会を企画していきます。

開催日	内容	人数
平成28年 2月29日	○実践報告 江ノ島見守り隊 天満区生活支援ボランティアグループ ○交流会	74名

#### ⑥子ども食堂

武佐学区において、「むさっ子食堂運営委員会」が組織され、開催された子ども食堂（むさっ子食堂）について、協力を行いました。

第1回	平成27年12月22日	第2回	平成28年1月6日
第3回	平成28年3月25日		

### ⑦学区地域福祉計画の策定支援

武佐学区において、「武佐学区地域福祉計画（第2期計画）」を策定され、策定に向けた会議運営や調査など協力を行いました。

・策定検討会議3回・ワーキング会議2回（小地域ケア会議）・策定集約会議4回

## （2）自治会単位の地域福祉活動の推進

### ①ふれあいサロン活動の支援

住民同士のつながりを深め、支えあう地域づくりのため、各地域でふれあいサロンが開催され、閉じこもりがちな人の居場所づくりや地域における見守り活動として有効な活動として根付いてきています。今後、更に、身近な地域における交流の場と機会が増え、内容が充実するよう、各学区（地区）社協と連携し、推進していく必要があります。

学区	八幡	島	岡山	金田	桐原	馬淵	北里	武佐	安土	合計
地域	19	8	10	18	20	12	6	18	35	145
回数	87	57	103	261	242	268	57	131	494	1,700
平成26年度開催地域：145地域							平成26年度開催回数：1,659回			

### ②ふれあいサロン交流会の開催

ふれあいサロンボランティア等を対象に、ふれあいサロンの運営に関する情報提供や活動の様子などの情報交換の機会として交流会を開催しました。

開催日	内容	人数
平成27年8月24日	ふれあいサロン活動紹介	29名
9月2日	(江ノ島ふれあいサロン・江ノ島ワンコインカフェ) 情報交換 ※2日とも同じ内容で開催	32名 計61名

### ③小地域ネットワーク活動の支援

自治会を単位として、住民主体で見守り、支えあいのできる組織づくりを推進しました。

平成27年度は、平成26年度からの継続した支援をしている地区に加え、6地区の新規取り組みを支援しました。

今後、学区（地区）社協と連携し、新たに取り組む地域を増やしていくことが課題です。

支援地域数	福祉推進組織活動 継続15か所 新規6か所
支援内容	研修会等の情報提供、連絡調整、相談支援、活動把握、地域に出向き説明

## 7. ボランティア活動の支援

### 〈評価と方向性〉

ボランティアセンターの設立は、地域福祉活動計画の大きな柱の1つです。その設立に向けて、ボランティアセンター設立準備委員会を開催し、近江八幡市らしいボランティアセンターの目標と機能について協議いただきました。

この目標と機能に基づきボランティアセンターの運営を行っていきたいと考えています。

## (1) ボランティアセンター運営委員会の開催

### ①ボランティアセンター運営委員会の開催

市民参画によるボランティアセンターの立ち上げから3年目を迎えました。ボランティアセンターの取り組みがさらに進めていくため運営委員会を開催し、運営について協議を行いました。

開催日	内容
第1回 平成27年7月2日	委員長、副委員長の選任について 平成26年度ボランティアセンター事業報告について 平成27年度ボランティアセンターの主な取り組み(重点計画)について 運営委員の追加選任について
第2回 平成27年10月15日	第1回運営委員会の振り返り 平成27年度ボランティアセンターの取り組みについて 今後の取り組みについて
第3回 平成27年12月18日	第1, 2回運営委員会の振り返り 今後の取り組みの方向性について
第4回 平成28年3月8日	第3回運営委員会の振り返り 今後の取り組みの方向性について

## (2) ボランティアセンター事業の運営

### ①ボランティア活動相談

ボランティア活動等に関する情報提供や相談等を行い、活動の支援を行いました。

活動依頼では、ふれあいサロンや老人会などでのレクリエーション等の相談による調整が増えました。専任のコーディネーターを配置したことで、相談件数・活動依頼とも増えました。また、今後の活動につながる講座の開催や講座終了後の支援についても充実した取り組みを行うことができました。

	平成27年度	平成26年度
登録受付	個人127名・団体122件	個人119名・団体101件
相談受付・情報提供	1,978件	1,570件
活動依頼	627件	604件

### ②講座の開催

くらし応援サポーター養成講座を開催し、地域での見守りや支えあいの推進を目指して、講座を開催しました。今後、講座受講生のみなさんと一緒に考えながらボランティア活動に取り組んでいきたいと考えています。

また、退職男性を対象にした講座では、仲間づくりと地域活動に参加するイメージをもっていただけるよう講座を開催し、講座終了後に交流会を開催し、グループを組織されました。

◇くらし応援サポーター養成講座

開催日	内 容	参加者
平成27年 8月28日	「地域の中にある課題～一人ひとりの幸せづくりに必要なこと～」 講師：滋賀県社協職員、市高齢福祉介護課職員	21名
平成27年 9月 4日	「いろいろな人と地域で暮らすということ～コミュニケーションについて学ぶ～」 講師：聖泉大学 講師 森 雄二郎さん	22名
平成27年 9月11日	『「今」だから必要なこと～安心できる未来にするために～』 講師：ちょこっとサポートみその（東近江市御園地区）のみなさん	23名

◇キラリ輝く男（おやじ）塾の開催

開催日	内 容
平成27年10月 9日	出会い・創年期の楽しみ方
平成27年10月16日	市内の地域活動紹介、本格コーヒーをいれよう
平成27年10月23日	近江八幡市の歴史と市内散策
平成27年10月30日	料理作りと栄養について
平成27年11月 6日	認知症についての学習会・振り返り

22名参加 講座終了後、グループ化の支援を行い、「羊の会シープス」結成

③安土町ボランティア連絡協議会の支援

ボランティア活動の推進のため、安土地区で活動されている安土町ボランティア連絡協議会活動を支援しました。

(3) ボランティア保険加入の窓口

①ボランティア保険の手続き

ボランティア活動保険加入の手続き窓口として、事務を行いました。

	活動保険	行事用保険	福祉総合保障
平成27年度	2,627名	59件	3団体
平成26年度	2,533名	49件	2団体

(4) 地域活動相談の実施

①地域コーディネーターの設置

退職前後の男性が地域活動をはじめのきっかけの相談窓口として地域コーディネーターによる相談活動を実施しました。

この相談事業の啓発を行い、相談したい方に知ってもらえるよう取り組んでいきます。

◇地域活動相談

と き：毎週月曜日（第5週を除く） ところ：ひまわり館ボランティアセンター  
内 容：退職男性を対象とした地域活動相談

開催日：46日

相談件数：6件（平成26年度 11件）

◇地域コーディネーター会議の開催 3回開催

## 8. 災害時の組織体制の整備

### 〈評価と方向性〉

災害ボランティアセンターの運営に向けて、市内の関係機関との協力体制や役割など現時点で感じた必要なことを確認し合いました。今後は市域、学区域のネットワークづくりとともに、災害時に社協が災害ボランティアセンターを立ち上げることの意識啓発に取り組んでいくことが必要です。

### （1）災害ボランティアセンターの体制整備

①災害ボランティアセンター開設・運営のためのネットワーク構築に向けた検討会議

災害時における災害ボランティアセンターの開設・運営に向けた体制整備として、関係機関における意見交換を行いました。

開催日	内 容
平成28年 3月 4日	平成27年度の取り組みについて 情報交換

### ②講座の開催

災害ボランティアセンター運営サポーター養成研修の開催

開催日	内 容	参加者
平成28年 3月18日	災害にも強い地域づくりと福祉の地域づくり 講師：NPO 法人さくらネット 代表理事 石井布紀子さん	32名

### ③総合防災訓練参加

近江八幡市が実施する総合防災訓練に参加し、災害ボランティアセンター設置および運営訓練を実施しました。

と き：平成27年8月30日 ところ：武佐小学校

## 9. 福祉教育の推進

### 〈評価と方向性〉

校長会での周知や、学校支援メニューフェアへの出展、学校支援コーディネーターへの呼びかけなど学校に働きかけての福祉教育の推進を図り、学校や地域での福祉教育を実施しました。

### (1) 福祉学級

子どもたちに福祉に対する理解や関心をもってもらうことを目的に開催しました。  
退職男性グループに昼食づくりを依頼し、活動の機会となりました。

開催日	内 容	参加者
平成27年 8月10日	内容：「フクシって何？ジブンってなに？」 場所：ひまわり館ホール	16名
平成27年12月12日	内容：余暇支援クラブ「はちのこ」・「すまいる」との交流 ※障がい児余暇支援事業ふれあいクリスマス会として開催 場所：ひまわり館ホール	62名

### (2) 学校に対する啓発活動

#### ①学校や地域等に対する啓発活動や福祉体験

学校や地域で行われた福祉学習への支援、協力を行いました。

今後も新しいプログラム作りと、継続して福祉教育に関する取り組みの働きかけの必要があります。

	小学校	中学校	高等学校	その他
平成27年度	6校36件	2校8件	3校4件	2件
平成26年度	5校28件	1校11件	4校6件	2件

### (3) 地域における福祉教育の推進

- ①ふれあいサロン活動等自治会単位への職員派遣 17件（平成26年度11件）
- ②学区（地区）域で開催された研修等への協力 18件（平成26年度19件）
- ③団体の研修等への協力 5件（平成26年度6件）

## 10. 子育て支援事業

### 〈評価と方向性〉

社会福祉協議会では、市の委託事業として「つどいの広場」事業を実施しています。

今後は、委託事業の実施とともに小地域で取り組みが実践できるように検討していきます。

#### (1) 子育て支援事業

就学前の子どもとその保護者が気軽に集い、うち解けた雰囲気の中かで、情報交換や交流を図る場として「つどいの広場事業」を開催しました。

事業を通して、子育てに不安がある保護者への相談援助活動や地域の子育て支援に関する情報提供、使わなくなった育児用品やおもちゃなどのリサイクル広場を行いました。



また、昼食時や料理教室において食育についてのお話しの場を設けました。今後、より多くの方に参加していただけるよう周知と内容の工夫をしていく必要があります。

開催日：毎週火・水・金曜日（祝祭日、年末年始を除く）

ところ：あいうの家（安土町上豊浦古民家）

内 容：お話広場（毎月第1火曜日） ティタイム&お誕生会（毎月第3水曜日）

ママ教室 遊びの広場 リサイクル広場

	開催日数	延べ参加者
平成27年度	143日	2,916名
平成26年度	144日	2,830名

## 1.1. 高齢者支援事業

### 〈評価と方向性〉

市の委託事業として「多世代交流サロン」を実施しています。それぞれの地域で実施しているふれあいサロン事業との違いを明確にし、地域交流を図っていきたいと考えます。また、介護保険制度改正に伴う介護予防事業の取り組みについて、注視していきたいと考えています。

#### ①多世代交流事業

子どもから高齢者まであらゆる世代の人たちがふれあえる環境を整備し、誰もが住みよい元気のでるまちづくりの拠点として、機能の充実を図ることを目的に開催しました。

多世代の交流が図れるよう内容の工夫と周知について検討が必要です。

開催場所	平成27年度		平成26年度	
	開催回数	延べ利用人数	開催回数	延べ利用人数
ひだまり庵（ふくふくの家）	46回	878名	46回	993名
常楽寺老人憩いの家				

## 1.2. 障がい者支援事業

### 〈評価と方向性〉

地域との連携や手話通訳の派遣など本会の強みを活かした障がい者支援事業を実施しました。相談支援機関や障がい福祉サービス事業所と連携しながら実施していきます。

#### (1) 相談事業

ピアカウンセリング・知的障がい者生活相談

ピアカウンセリング、知的障がい者生活相談を実施しました。

知的障がい者の生活相談については、相談者の要望もあり、地域のコミュニティセンターを借りて実施しました。

	平成 27 年度	平成 26 年度	平成 25 年度
ピアカウンセリング	0 件	0 件	0 件
知的障がい者生活相談	0 件	5 件	8 件

## (2) 手話通訳事業

聴覚障がい者のコミュニケーション支援のため、手話通訳サービスを実施しました。  
日野町、竜王町と委託契約を行い、手話通訳者を派遣しました。

	平成 27 年度	平成 26 年度	平成 25 年度
日野町	111 件	115 件	82 件
竜王町	139 件	159 件	109 件
合計	250 件	274 件	191 件

## (3) 障がい児福祉活動の推進

### ①障がい児サマーホリデーサービス事業

夏休みに障がい児の余暇支援活動を実施しました。

事前に保護者懇談会を開催し、保護者の参加を呼びかけました。また、地域のボランティアや民生委員児童委員の協力のもと事業を実施し、障がい児の地域生活を考える機会となりました。8月18日に保護者交流会を開催しました。

期 間：平成27年7月22日～8月21日の期間のうち20日間

と ころ：安土地区内公共施設、安土小学校、老蘇小学校、きぬがさ作業所

内 容：おやつづくり、おもちゃづくり、レクリエーション、水遊び、交流会

バスによる外出（ラフォーレ琵琶湖、琵琶湖博物館、あいとうマーガレットステーション、銅鐸博物館）

平成27年度	療育教室登録	23名	延べ参加者241名	1日あたり12.1名
	作業教室登録	2名	延べ参加者 4名	1日あたり1名
平成26年度	登録児童生徒	15名	延べ参加者147名	1日あたり7.4名
	作業教室登録	3名	延べ参加者 6名	1日あたり1名

### ②障がい児休日生活支援事業

毎月1回、障がい児の休日の余暇支援活動を実施しました。12月には、「はちのこ」、市内の小学生対象の福祉学級との交流会を実施しました。

また、2月13日に保護者交流会を開催し、4名が参加されました。

開催日：年10回 毎月第1土曜日（7月、8月を除く）に開催

と ころ：安土地区内公共施設

内 容：おやつづくり、いちご狩り、茶話会、「はちのこ」、福祉学級との交流会

バスによる外出（探検の殿堂、梨狩り、みなくち子どもの森）

平成27年度	登録児童生徒	16名	延べ参加者67名	1日あたり6.7名
--------	--------	-----	----------	-----------

平成26年度	登録児童生徒	12名	延べ参加者63名	1日あたり6.3名
--------	--------	-----	----------	-----------

③ふれあいクリスマス会の開催（歳末事業）

日時：平成27年12月12日（土）

場所：総合福祉センターひまわり館ホール

内容：人形劇の鑑賞、昼食づくり、タペストリーづくり

参加者：計62名

④地域支えあい講演会の開催

日時：平成28年1月30日（土）

場所：総合福祉センターひまわり館ホール

演題：精神障がいのある方の暮らしについて

講師：社会福祉法人きぼう 理事長 勝見 尚子さん

参加者：49名

ロビーにて、市内作業所自主製品販売コーナーを実施（3作業所参加）

### 13. 備品貸出

〈評価と方向性〉

本所、支所それぞれで実施しました。利用頻度は高く、今後とも実施していきたいと考えています。

(1) 備品貸出事業

①車椅子の貸出

他制度・他施策で貸与や支給が受けられない方を対象に車椅子の貸し出しを行いました。

	平成27年度	平成26年度
本所	303件	329件
支所	14件	28件

②レクリエーション備品の貸出

ふれあいサロン活動のなどのためのレクリエーション備品の貸し出しを行い、地域活動の支援を行いました。

	平成27年度	平成26年度
本所	73件	62件
支所	98件	116件

### 14. 福祉サービスの利用支援

〈評価と方向性〉

地域福祉権利擁護事業の利用者は伸びていますが、生活支援員が1名だけのため、専門員への負担が大きくなっています。

この事業の利用は、今後も増えていくことが予想されることから、職員体制の充実を図れるようつとめていきます。

平成27年度施行の生活困窮者自立支援制度の事業として、家計相談支援事業を受託し、関係機関との連携をとりながら事業を実施しました。

### (1) 総合相談事業

住民の身近な相談所として、また、福祉課題の把握の窓口として、各種相談事業を実施しました。

心配ごと相談は、本所で月4回、支所で月1回開催しました。今後も周知を行っていく必要があります。

	相談日数	相談件数	平成26年度	
			日数	件数
心配ごと相談 (本所)	47日	17件	47日	22件
	(支所) 10日	1件	10日	2件
弁護士相談	13日	67件	63件	
司法書士相談	2日	10件	5件	

### (2) 地域福祉権利擁護事業

#### ①地域福祉権利擁護事業

認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者等で判断能力が不十分な方が、安心して地域で生活ができるよう、福祉サービスの利用援助や日常的金銭管理、書類預かり等を行う事業を実施しました。行政や地域の障がい者支援センターからの相談から契約にいたるケースが多くありました。契約件数は年々増加しています。

	認知症高齢者等	知的障がい者	精神障がい者	その他	合計
相談援助件数	1,177件	1,152件	1,449件	0件	3,778件
新規契約件数	8件	4件	8件	0件	20件
年度契約件数	21件	23件	31件	0件	75件
				平成26年度末契約件数	75件

#### ②利用者交流会

地域福祉権利擁護事業利用者の孤立を防ぐことを目的に利用者交流会を開催しました。この交流会は、本事業利用者が地域でのつながりが少ないという課題が明らかになり、平成23年度から実施したものです。利用者にとって楽しみなイベントの一つになっています。

開催日	内容	参加者
平成27年 6月13日	茶話会・ゲーム	8名
平成27年11月14日	茶話会・ゲーム	8名

平成27年度 参加者16名

### (3) 生活福祉資金貸付

#### ①生活福祉資金貸付事業

滋賀県社会福祉協議会が実施する生活福祉資金貸付事業の相談窓口として、相談支援活動を通して貸付事業を実施しました。

貸付手続きだけでなく、申し込み相談の内容からその世帯の抱えている、問題点を把握し、他の福祉サービスに繋げることができました。

また、平成27年度は生活困窮者自立支援制度と連携を図り、事業を実施しました。

	平成27年度	平成26年度
相談件数	82件	59件
新規貸付件数	8件	9件

#### ②小口生活資金貸付事業

生活保護適用までの方やすでに生活保護を受給されている方を対象に近江八幡市の補助事業として小口生活資金貸付事業を実施しました。

借受者の実数、延べ人数とも平成26年度より減少しています。

平成27年度	平成26年度
50件	91件

### (4) 生活困窮者支援

#### ①家計相談支援モデル事業（受託事業）

失業等により生活が困窮状態にある人およびこのような状態に陥る恐れのある人からの相談に応じ、家計の視点から各種の情報提供や専門的助言・支援を行い、家計を管理する力を高め、早期に生活が再建されることを目的に事業を受託し実施しました。

しかし、行政からこの事業は任意事業であるため、平成28年度は実施しないと通知があり、平成27年度で委託は終了しました。

	平成27年度	平成26年度
契約件数	4件	2件

#### ②食料支援

一時的に食料がない方に対して、世帯人数に応じた食料をお渡ししています。

	平成27年度	平成26年度
支援世帯	10世帯	20世帯

## 15. 高齢者支援サービスに関する事業

### 〈評価と方向性〉

介護保険サービスの対象とならないサービスとして実施している事業です。その必要性は高く、引き続き事業を実施していきます。

#### (1) 福祉輸送事業

##### ①福祉輸送事業

公共交通機関の利用困難な要介護高齢者を対象に通院（介助）、送迎を行いました。

	平成 27 年度	平成 26 年度	平成 25 年度
延べ利用者	82 名	87 名	134 名
延べ件数	256 件	100 件	245 件

#### (2) 生活支援事業

##### ①生活支援

生活支援事業は、社会福祉協議会の独自事業として実施し、公的サービスでは対応できない一人暮らし高齢者や高齢者のみの世帯を対象に、通院介助や入院時の洗濯などのサービスを引き続き実施していきます。

	平成 27 年度	平成 26 年度	平成 25 年度
延べ利用者	37 名	39 名	38 名
延べ件数	249 件	211 件	50 件
派遣時間	126.5 時間	105.5 時間	102.5 時間

## 16. 介護保険事業

### 〈評価と方向性〉

介護保険事業は、社会福祉協議会の収入の大きな柱となっていますが、利用者の減少など厳しい運営となりました。平成 27 年度は、介護報酬の改定により報酬の減少が予想されるため、サービスの質を落とすことなく、効率的な運営が求められます。

#### (1) 居宅介護支援事業

平成 27 年度は、主任介護支援専門員 3 名を含む 6 名の体制で業務を実施しました。要支援 1、2 および要介護 1、3 の方の件数を増やすことができました。

	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計
平成 27 年度	63	107	921	542	387	133	122	2,275
平成 26 年度	34	70	806	571	315	179	120	2,095
平成 25 年度	19	60	819	640	258	198	180	2,174

## (2) 通所介護・介護予防通所介護事業

要介護状態の高齢者に対し、送迎、入浴、食事、レクリエーション等のサービスを実施しました。

### ①デイサービスセンターひまわり

重度の要介護の方は、一般的に施設入所となる傾向にあるにもかかわらず、重度の要介護の方の件数を増やすことができました。

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
平成27年度	0	306	2,587	1,743	1,464	717	1,100	7,917
平成26年度	76	240	2,098	1,694	1,554	501	1,068	7,231
平成25年度	99	362	2,128	1,812	1,268	894	1,127	7,690

### ②デイサービスセンターきらめきあづち

同様に減少傾向にあり、契約者数の底上げをする努力を引き続き重ねてまいります。

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
平成27年度	117	224	2,259	1,944	1,119	497	172	6,332
平成26年度	89	265	2,705	2,084	1,110	729	296	7,278
平成25年度	130	390	2,412	2,084	1,034	984	289	7,323

## (3) 認知症対応型・介護予防認知症対応型通所介護事業

### ①デイサービスセンターほのぼのあづち

重度の要介護の方を受け入れたことで、一人の利用者にかかわる比重が重くなり、延べ利用者の受け入れが減少しました。

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
平成27年度	0	0	156	453	376	178	429	1,592
平成26年度	0	0	44	705	472	187	301	1,709
平成25年度	0	0	113	964	351	327	105	1,860

## (4) 訪問介護・介護予防訪問介護事業

居宅において、自立した生活が営めるよう入浴、排泄、食事等生活全般の援助を行いました。

### ①ヘルパーステーションあづち

	年間延べ利用者	年間延べ派遣回数	身体介護派遣時間	生活援助派遣時間	乗降介助派遣時間	合計時間
平成27年度	5,909	8,107	5,426	2,157	71	7,654
平成26年度	6,478	9,958	5,429	2,249	89	7,767
平成25年度	4,758	10,507	6,371	2,180	109	8,660

## 17. 障害者総合支援法に基づく障がい福祉サービス事業

### 〈評価と方向性〉

平成25年度から相談支援事業所事業運営を本格実施していますが、平成26年度から、職員を1名増員して実施した結果、契約件数が大きく増加しました。

### (1) 介護給付事業

身体障がい、知的障がい、精神障がいのある方が居宅において自立した生活が営めるよう入浴、排泄、食事等生活全般の援助を行いました。

#### ①居宅介護事業所

	延べ利用者	身体介護派遣時間	家事援助派遣時間	延べ派遣時間
平成27年度	51	161	379.5	540.5
平成26年度	31	34	158.5	192.5
平成25年度	36	57	167	232.5

#### ②ガイドヘルプひまわり

視覚障がい者の外出支援のためのガイドヘルプ事業を実施しました。

「居宅介護」においては、通院等社会生活上不可欠な外出を支援し、「同行援護」においては、余暇などの外出支援を行うサービスとして実施しました。

	居宅介護	同行援護	合計
平成27年度	151件	307件	458件
平成26年度	121件	295件	416件
平成25年度	74件	116件	190件

### (2) 相談支援事業

障がい者福祉サービスや障がい児通所支援の申請に係るサービス等利用計画案を作成するとともに、サービス等の利用状況を確認し、計画の見直しやサービス事業者等との連絡調整を行いました。

#### ①相談支援事業所

	障がい児	障がい者	合計
平成27年度	168件	514件	682件
平成26年度	9件	410件	419件
平成25年度	—	130件	130件